

自己評価公表シート

令和8年度 第1回 津山社会福祉事業会 津山保育園

1. 本園の保育目標

子どもが健康で心豊かに成長するため、保護者や地域社会とともに子育てを進めます。
1. 心身ともに健康で丈夫な子どもを育てます。
2. 豊かな生活経験のなかから基本的生活習慣を身につける子どもを育てます。
3. 安定した気持ちで様々な活動を通して共通の目的を見出し、協力して遊びを楽しむ子どもを育てます。
4. 豊かな感性を持ち、自分の思いが表現できる子どもを育てます。

2. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
保育について 保育目標・保育・行事について 職員が連携して「子どもの最善の利益の尊重」を最優先して子ども主体とした保育を行う。	月間目標や主体的な保育について園内研修を行った後、振り返りを行った。行事はについてしっかり子どもが主体的に考えて興味を持つ取り組み方が今後の課題となる。
開かれた保育所づくり 信頼される保育園として、保護者、地域、専門機関との連携と貢献を図る。	送迎時や懇談を通して、家庭の様子やニーズの把握に努めている。地域との交流では、災害時の連携として津山文化センターなどと連携をとるようにしている。保健師や療育施設、相談事業所などの専門機関とは定期的に話を行っているが、共通認識をとることは今後も課題となる。
運営・保健・安全指導について 自分の職務や役割分担を理解し、安心安全な保育について、職員間で連携を取りながら責任を持ち意欲的に取り組む。	職員全員が交替で同じ内容の会議に参加できるようにしているが、意見にズレが生じる事もある。少人数でグループワークを行うことで理解し合えるようにしている。保健・安全面については、定期的に研修と訓練を行い、手順などの確認を行っている。
その他 安心安全な保育環境と楽しい保育の提供に努める	子どもたちが、安全で安心できるよう保育室の環境を工夫し、その時々の子どもの要求に対応しながら、異年齢児での関わりを持てる環境作りを行っている。

3. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み
各年齢の子どもの発達を捉えた保育の計画・実施をする。	目の前の子どもに合わせた楽しい保育計画や、子どもが主体的に遊べる保育環境にも配慮した保育を実践する。余裕を持った計画や柔軟な対応を心がけ、豊かな保育に取り組む。子どもの発達や心情に寄り添い声掛け関わりをチームでの保育に努める。
自分の職務や役割分担を理解し、職員間で意見交換しながら方向性を決定し、責任を持って仕事に取り組む。	自分の職務については責任を持って最後まで行う。また、行事等は会議で話し合いを持ち、それぞれ意見を出し合いながら進め、より役割が認識できるようにしている。経験年数等で差は見られるが、全員でフォローする体制を心がけている。
全職員の共通理解と安全対策の遂行に努める。	BCPを基本に感染症対策、地震対策、不審者対策等、具体的な手順を職員間で確認し、図上やロールプレイで動いて意識を高めるようにする。また、業務標準の見直しを行い、保育の質の向上につなげる。
全ての職員の資質向上に努める。コンプライアンスの徹底に努める。	職員研修の実施後は報告発表を行い、内容について現場で取り入れられることがないか意見交換を行う。また、個人情報・プライバシー保護に向け、職員全員へ定期的に重要性を知らせて基本的知識の理解と遵守に努める。